

第70回 藝大オペラ定期公演

Le nozze di Figaro

フィガロの結婚

W.A.モーツァルト

台本 L.ダ・ボンテ イタリア語上演・字幕付き(全4幕)

2024年(令和6年)

10月5日(土) 6日(日)

14:00開演(13:15開場)

東京藝術大学 奏楽堂(大学構内)

5日(土)

6日(日)



指揮
現田 茂夫



演出
久恒 秀典

合唱:東京藝術大学音楽学部声楽科オペラ実習1履修生
管弦楽:藝大フィルハーモニア管弦楽団

入場料

全席指定 S席 6,000円 バルコニー席 5,000円

※スケジュール・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。
※就学前のお子様は同伴、入場はご遠慮いただいております。

チケット発売

7月10日(水)

チケット取り扱い

- ◆ヴォートル・チケットセンター
<https://www.ticket.votre.co.jp>
TEL: 03-5355-1280 / 平日10:00~18:00
- ◆チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード:273-967)
- ◆東京文化会館チケットサービス <https://www.t.bunka.jp/tickets/>
TEL: 03-5685-0650 / 10:00~18:00 (休館日を除く)
店頭販売: 10:00~19:00(休館日を除く)
- ◆イープラス(e+) <https://eplus.jp/>
- ◆東京芸術大学生活協同組合(店頭販売のみ) TEL:03-3828-5669
営業日時はホームページでご確認ください。 <https://www.univcoop.jp/geidai/>



アルヴァーゴ・ペロモ
藤田 魁人



伯爵夫人
影山 亜由子



アルヴァーゴ・ペロモ
須田 龍乃



伯爵夫人
北見 エリナ



スザンナ
八木 麻友子



フィガロ
佐藤 克彦



スザンナ
柳澤 奈穂



フィガロ
石本 高雅



ケルビーノ
高橋 杏奈



マルチェリーナ
倉林 かのん



ケルビーノ
水野 菜津子



マルチェリーナ
富岡 明子



バルトロ/アントニオ
高崎 翔平



バジリオ/ドン・クラウディオ
糸賀 修平



バルトロ/アントニオ
清水 宏樹



バジリオ/ドン・クラウディオ
新海 康仁



バルベリーナ
横森 由有



バルベリーナ
白川 愛里亜

【主催】東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学大学院音楽研究科オペラ専攻
【助成】藝大フレンズ・東京藝術大学音楽学部同声会・東京藝術大学音楽教育振興会
【特別協賛】(株)日本開発グループ
【お問い合わせ】東京藝術大学演奏芸術センター TEL: 050-5525-2300 東京藝術大学ホームページ <https://www.geidai.ac.jp>



「藝大オペラ定期公演」は今年で70回を迎えます。多くの方の厚いご理解とご支援をいただき、1956年に開催した第1回公演G.ヴェルディの《椿姫》から現在に至っております。今年も皆様への深い感謝と共に、コロナ禍による制約を乗り越えて今成し得る限りのものを皆様にお届けいたします。

今秋、藝大奏楽堂にて奏でられる演目は、モーツァルト作曲《フィガロの結婚》です。藝大オペラでは第63回以降久しぶりの上演となる今作品は、フィガロとスザンナの結婚をめぐる1日を、個性豊かなソリストたちによって描いたドタバタ喜劇となります。当時の貴族を痛烈に風刺したダ・ポンテの物語を、モーツァルトの豊かな音楽と併せてどうぞお楽しみください。

東京藝術大学大学院音楽研究科オペラ専攻

STAFF

- ◇美術 黒沢 みち ◇照明 稲葉 直人 (株)A.S.G) ◇衣裳 西原 梨恵 ◇振付 市瀬 陽子
 ◇音響・収録 東京藝術大学音響研究室 ◇舞台監督 伊藤 潤 (株)ザ・スタッフ
 ◇演出助手 小野寺 東子 ◇字幕 本谷 麻子 ◇合唱指揮 小崎 雅弘
 ◇副指揮 佐藤 宏充 ◇コーチ 江澤 隆行 平塚 洋子 山口 佳代 (チェンパロ)
 ◇コレペティートル 三ツ石 潤司 ◇原語指導 E.アリエンティ



18世紀の後半、セビリア近郊の領主アルマヴィーヴァ伯爵邸での一日の出来事。

第一幕 伯爵邸の一室

早朝、小間使いのスザンナとの結婚を今夕に控えたフィガロは、主人である伯爵がスザンナを自分のものにしてしようとしていることを知り、彼女を守る決意をする。フィガロとの結婚を夢見る女中頭マルチェリーナ、恋に恋をする思春期のケルビーノ、スザンナに言い寄る伯爵らが次々と現れ、場は混乱。ついに伯爵は、自由奔放に振る舞うケルビーノに罰として軍隊行きを命じる。

第二幕 伯爵夫人の部屋

伯爵夫人ロジーナは夫の愛が冷めたことを嘆く。伯爵を懲らしめるため、フィガロは女装させたケルビーノと伯爵とを密会させ、その現場を夫人が取り押さえる、という計画を思いつく。これなら伯爵の邪悪な心を押さえ込み、スザンナとの結婚も無事執り行われるはずだと自信満々のフィガロ。だが、ケルビーノの女装の最中にまさかの伯爵の登場。事態は最悪な状況へ…。

第三幕 大広間

伯爵夫人はフィガロの計画を変更し、自らスザンナに女装して伯爵と密会することを決断する。一方フィガロは借金裁判に負け、マルチェリーナとの結婚が避けられない状況に、と誰もが思った瞬間に、予想外の展開が。やがて結婚式が始まり、賑やかな踊りの中、スザンナは夫人の言いつけ通り密会の場所を書き記した手紙を伯爵にそっと渡す。

第四幕 伯爵邸の夜の庭園

伯爵が受け取った手紙がスザンナからのものだと知ったフィガロは、愕然とする。彼はスザンナに裏切られたと思い込み、仕返しをするために密会の場所に隠れる。そこに衣裳を取り替えたスザンナと伯爵夫人が現れ、女たちの一世一代の芝居が幕を開ける。はてさて、この長い1日はどのような幕切れとなることやら…。

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8



交通のご案内

- JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
- 京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

※車椅子をご利用のお客様は、ヴォートル・チケットセンター TEL: 03-5355-1280 (平日10時~18時)までお問い合わせください。

※感染症対策につきましては、最新情報をホームページ等でお知らせしておりますので、ご来場の前にご確認ください。